

パブリック・コメント手続きの実施結果

- (1) 案件名 「中野区子ども読書活動推進計画（第2次）」案
- (2) 意見募集期間 平成24年6月14日から平成24年7月5日まで
- (3) 提出方法別意見提出者数

提出方法	人（団体）数
電子メール	2
ファクシミリ	2
郵送	0
窓口	1

- (4) 提出された意見の概要及びそれに対する区の考え方(同趣旨の意見は一括)
ア. 第2次計画（案）全般について（1件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	子どもの読書活動は、課題が多いと思うので、通り一遍のプランでは対応できなくなるということを知っておく必要があり、この計画を確実に実行し目標が実現できることを期待する。	第2次計画に掲げる目標の達成実現に向け努力していく。

- イ. 第2章 1.「子どもたちの読書活動の場」による取り組みについて(7件)

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	『おはなし・読み聞かせボランティア講座』の受講生に、区内ボランティア団体の情報提供など、実際に活動していくためのフォローを望む。	区内ボランティア団体等の情報を提供するなど、講座終了後の活動につなげていく。
2	学校図書館へのボランティアの参加は、これからぜひ増やしていくべきと考える。	おはなし・読み聞かせボランティア講座を充実するだけでなく、学校支援ボランティアの活用など、幅広いボランティアの参加に努めていく。

3	『郷土に関する資料の収集や展示』についてはとても期待しているので、郷土に愛着をもつためにも、子どもにとって読みやすい資料の充実が図られると良いと思う。	子どもにとっても読みやすい資料の収集や展示の工夫などに努めていく。
4	子どもたちにとって図書館が有効に利用される場となるように、区の図書館と学校図書館の間で、情報交換できる場がもっとあったら良いのではないか。	合同研修会や合同選書会議等情報交換の場を設けているが、今後も区の図書館と学校図書館の連携に努めていく。
5	『学校図書館用ソフトの導入』については、全校に一斉に入れるのが難しい場合は、大規模校から少しずつ実施されたらよいと思う。	学校図書館用ソフトは、学校の図書の検索や貸出返却に活用するものであるが、導入については学校の実情に合わせて検討を行っていく。
6	『地域開放型学校図書館の整備』については、学校と地域とのニーズに合わせた慎重な実施を希望する。 特に学校と地域図書館が距離的に近い場合には、地域図書館の児童書コーナーを充実した方が有効と考える。 また、乳幼児親子が主たる対象であれば、放課後という時間設定には疑問を感じるので、乳幼児親子のニーズを把握して実施してほしい。 地域開放型学校図書館は、良い面もたくさんあると思うが、学校図書館のもつ特性や安全面などを考えた時に、課題もあるのではないか。	地域開放型学校図書館については、地域の親子や区民の読書活動の充実につながるよう実施に向けて検討していく。

7	『地域開放型学校図書館の整備』について、ボランティアの地域拠点づくりや親子の読書活動を通じた居場所づくりであれば、区民活動センターやその他の施設を整備する中でふさわしい場所があると思う。学校を拠点にしなくとも、地域図書館をもっと充実させ居場所づくりを進めてほしい。	学校図書館は、蔵書数が多く落ち着いた環境が整っているため、子どもの読書活動の場として他の施設にはない機能を備えている。 地域開放型学校図書館としてはふさわしいものと考えている。
---	--	---

ウ. 第2章2. 「子どもたちの成長段階」による取り組みについて（1件）

No.	提出された意見の概要	区の考え方
1	『児童コーナーやYAコーナーにおける本の相互紹介や情報交換のための掲示板等の設置』については、図書館だよりなどの中で紹介していくことによって、興味や関心をさらに高めることができるのではないか。	図書館だよりやホームページなどで紹介していく。